産後の母子への支援に関する研究

関連するSDGsの国際目標

人間看護学部　人間看護学科　　講師　　渡邊　友美子
研究分野：生涯発達看護学

概要：産後の女性と家族が、健康に子育てをすることができる、
全ての人が子どもを育てることが心から楽しいと思えるような社会を目指して、
できることから少しずつを目標に研究に取り組んでいます。

現在は、この課題に取り組んでいます

■マルトリートメント予防に向けた支援ガイドの開発

マルトリートメントは、子どもの発達・発育を阻害する要因となるばかりでなく、身体的健康被害、心理的・社会的健康問題のリスクを上昇させます。また、被虐待児として育った親は、自分の子どもを虐待するという虐待の世代間連鎖を引き起こすとされていて、日本の母子保健上の最優先すべき社会問題です。マルトリートメント未然に防ぐ支援は、産後の母子が健やかに生活を送るために取り組む課題の1つと考えます。

産科医療機関での1か月健診時に実施するマルトリートメント予防のための看護職者用ガイドを作成

→

産科医療機関での1か月健診時に実施するマルトリートメント予防のための支援プログラムの実施と効果の検証に発展



マルトリートメントとは？

子どもを育てる養育者からの、「身体的虐待」「性的虐待」だけではなく「ネグレクト」「心理的虐待」を包括した内容で、子どもへの発達を阻害する行為全般を含めた「不適切な関わり」のことをいいます。